

副業・兼業

人材との協業による 経営課題解決

副業・兼業という

新しい働き方を希望される人材が
増えてきています

専門スキルや知見をシェアすることで
企業の経営課題の解決を目指すことが
注目されています

副業・兼業人材の積極的活用で経営課題解決

2040年には86万人へと人口減少するとの試算がある富山県。労働力人口の減少は、富山県企業に大きな影響があり、富山県では、様々な方法にて働き手の確保をしています。

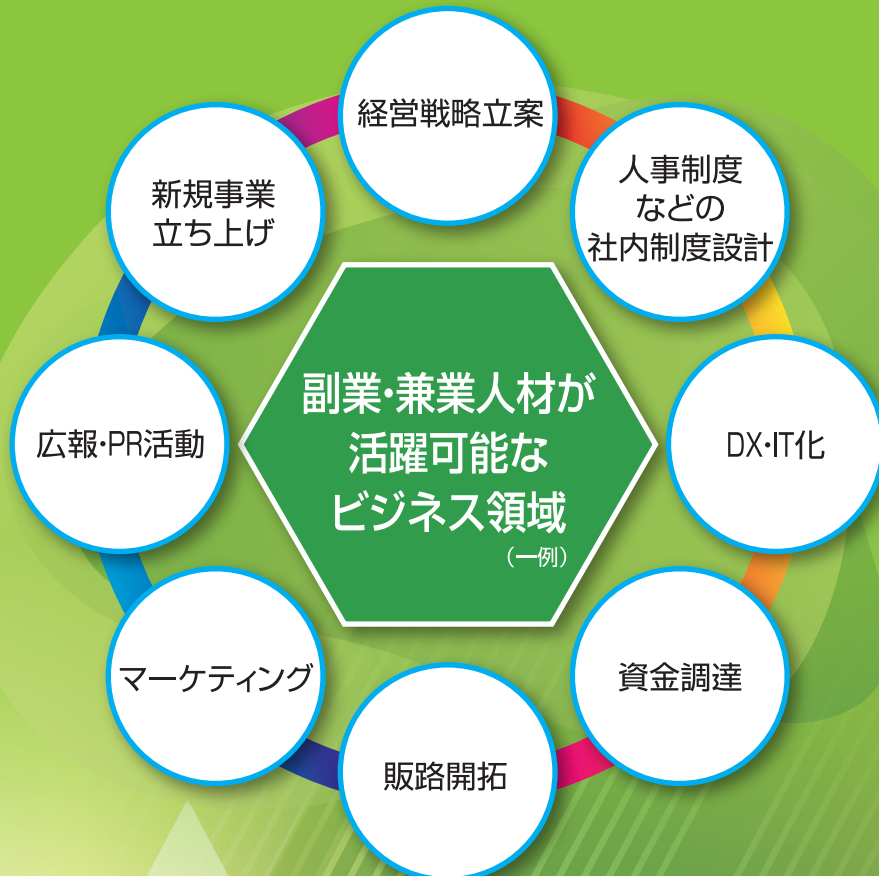
県内企業の経営課題解決方法の一手として、副業・兼業という新しい働き方に注目しています。

本業を持ちながら、地方創生に関わりたい、今までのビジネス経験から蓄えた専門スキルや知見を還元したい、このような想いをお持ちのその道の〔プロフェッショナル〕たちとの協業による経営課題解決を進めています。

不確実な将来へのビジネス展開のキーワードは「グリーン」、「オープン」、「グローバル」。

1社のみでの課題解決には限りがあるため、最先端の知見を持っている副業・兼業人材とオープンにビジネスを進めましょう!!

このような考えより、富山県では令和3年度サンドボックス予算を活用し、県庁内4つの課にて、副業・兼業人材との協業を進め、大きな成果を得られました。



国も副業・兼業の促進を後押ししています

国は、「働き方改革」に一つの施策として、副業・兼業を普及促進しています。

2020年9月、厚生労働省は、企業も働く方も安心して副業・兼業を行うことのできるよう、労働時間の管理などの副業・兼業ルールをより明確にするため、2018年1月に策定した「副業・兼業の促進に関するガイドライン」を改定しました。

「原則、副業・兼業を認める方向とすることが適当である」の背景には、勤務時間以外の時間をどのように過ごすかは、基本、労働者の自由であるという考えがあります。

国が示すガイドラインも、副業・兼業は合理的な理由がなく制限はできず、原則、副業・兼業を認める方向となっています。

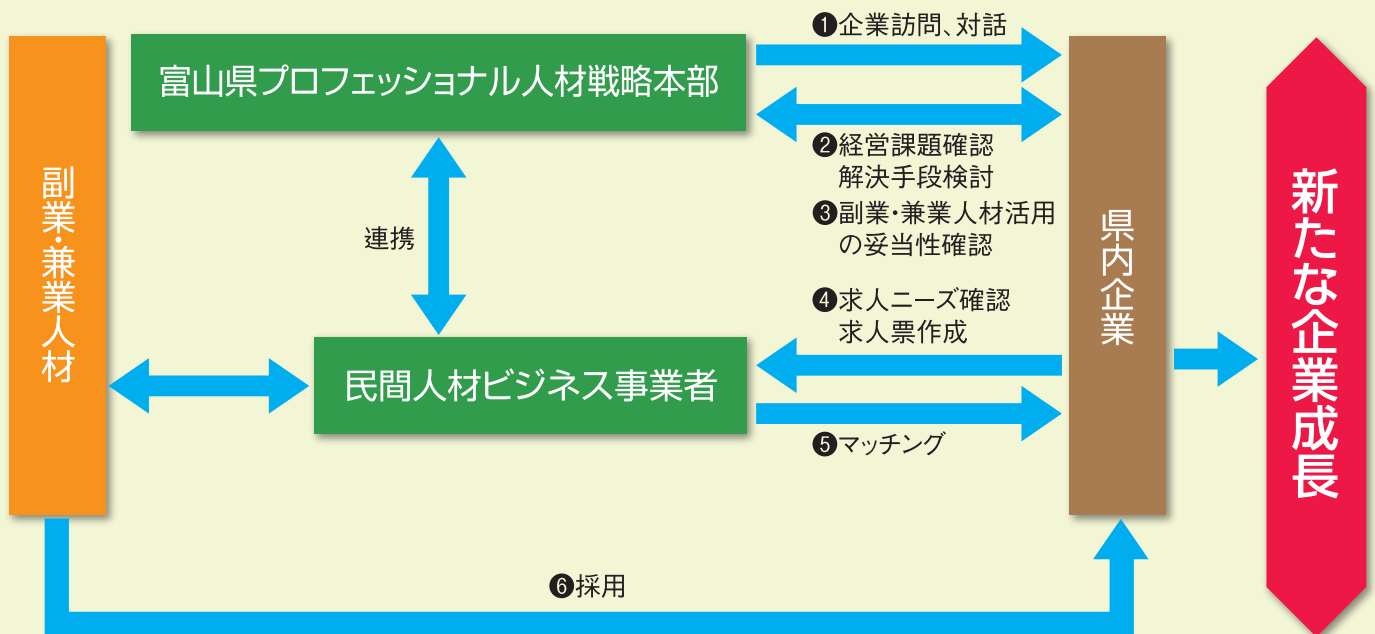
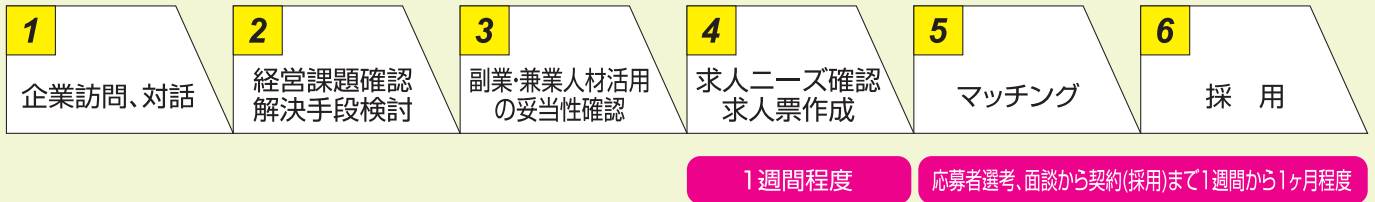
労働時間の通算の解釈等が明確になりました

副業・兼業の場合における労働時間の管理については、労働基準法上、労働時間の通算が必要となる場合がある中で、副業・兼業先での労働時間の管理・把握が困難であるという理由から導入に対して企業の慎重な姿勢がありました。

このため、厚生労働省から、労働時間の通算のルールや労働者の自己申告等による副業・兼業の確認、簡便な労働時間管理の方法等が示され、導入しやすくなりました。

県では、県内企業が経営課題の解決に必要となる「プロフェッショナル人材」や「副業・兼業人材」の確保のため、富山県プロフェッショナル人材戦略本部を設置。
経営課題解決等で即戦力となる「副業・兼業人材」のマッチングを支援しています。

副業・兼業人材採用までの流れ



- ★副業・兼業人材への報酬は3~5万円/月程度が一般的
- ★実際に富山に来てもらう場合は、別途交通費実費の支払いが必要
- ★その他、民間人材ビジネス事業者への支払いが必要

契約

副業・兼業では、様々な雇用形態がありますが、業務委託契約が主流です。

業務委託には「請負契約」と「委任契約」の2種類があります。

※業務が法律行為であれば「委任契約」、法律行為以外の業務であれば「準委任契約」となります。

請負契約	●業務を完成させることを目的とした契約 ●業務の完了・成果物の納品を持って対価が発生する
委任契約	●業務の遂行を目的とした契約 ●業務を行えば、成果物がなくても対価が発生する

「副業・兼業人材」を活用するメリット

- メリット 1** 都市部の優秀な人材を活用できる
- メリット 2** 必要な業務を、必要な時だけスピーディーにお願いできる
- メリット 3** 常勤で雇うより、費用を抑えられる

女性活躍推進課

働く女性の 様々な分野での 活躍を実現するため、 官民連携で取り組みたい。

富山県では、若い女性の県外への転出超過が続いている。就業状況としては、女性就業率が全国3位である一方、女性管理職の割合は41位であり、「時代とともに変わっている女性のキャリアに対する志向や働き方に関するニーズに対応できていない」「核家族化による家事・育児負担の増に対応できていない」といった現状があると考えられる。県内企業の実態把握を進め、課題を解決するための施策につなげたいと考えた。

● 課題解決のために

女性活躍推進課は、人材育成、女性のキャリアパスのスペシャリストである首都圏在住の2名の副業者を採用し、県内企業20社以上に対して女性活躍の現状をヒアリングした。ヒアリングは主にWEBで行い、都内にオフィスを持つ一部の企業では対面でも行った。ヒアリングと同時に、副業者からは各社で異なる課題について解決策も提案いただいた。また、ヒアリングの分析結果を踏まえ、県に対しても提案をいただいた。

● 取り組みの成果

ヒアリングで得た各企業の女性活躍の取り組みは、先進事例としてまとめ、令和4年2月より県HPにて公開。また、令和3年10月21日には副業者が来県し、県内女性社員を対象とした本音トーク座談会のファシリテーターを務めた。2名の副業者には、新たに「富山県女性活躍推進コンサルタント」に就任いただき、県内企業の当該活動をサポートする業務を行ってもらった。

副業を経験して

本プロジェクトには、男女雇用機会均等法一期生で悪戦苦闘してきた一人として、仕事人生の最後に少しでも助力できればと思い参加しました。ヒアリングはほとんどWEBでしたが、むしろWEBだからこそ本音が聴き取れた部分もありました。

副業者が活躍するためには担当者のマネージングが大切です。今回のプロジェクトは、ご担当者がうまくハブとしてプロジェクトを回してくださり、楽しく働けました。



埼玉県在住
50代

紹介を受けた
民間人材ビジネス事業者
株式会社みらいワークス

技術エンジニアとして18年間、マーケティングで6年間働いたキャリアの中で、女性技術者はまだまだマイノリティという思いを持っていました。また、元々地方における地域活性のプロジェクトの経験があり、本プロジェクトを知って参加しました。

活動中、考え方や方法の違いはどうしても生じます。ここで副業者が無理に意見を通すとしんどくなるものですが、一緒に課題に向き合い、手探りしつつ意見を述べることができました。



千葉県在住
60代

紹介を受けた
民間人材ビジネス事業者
パーソルキャリア株式会社



県担当者から

多数の応募者の中からお二人に依頼したのは、それぞれのキャリアはもちろん、「富山に寄り添っていただける」というお人柄も、決め手になりました。共働きの多い富山県ならではの課題にも気付かされました。コンサルタント事業は令和3年度9月補正予算で事業化でき、継続して業務を遂行いただくことができました。

観光戦略課

富山県観光公式サイトの 内容を充実し、 観光消費額の 拡大につなげたい。

富山県観光公式サイト「とやま観光ナビ」は、平成25年度以来のサイトのリニューアルに際し、全体の魅力アップ、内容充実、回遊率アップが課題になっていた。

これを機に、「首都圏をターゲットにしたコンテンツ」、「外からの視点で富山観光をPRするコンテンツ」を充実させ、「富山ファン」への戦略的なアプローチや、県内周遊の促進による観光消費額の拡大につなげたいと考えた。

● 課題解決のために

観光戦略課は、コンテンツ充実を担う副業者として、フリーランスで活動する編集ライター2名を採用した。ライターの提案や意向を確認しながら、取材先選定を行った。新型コロナウイルス感染症拡大状況を見極め、11～12月にそれぞれ来県いただき、取材対象者への対面でのインタビューや撮影、県内での現地取材を実施いただいた。

● 取り組みの成果

取材記事はそれぞれの副業者のキャリアと個性を生かし、「富山を旅して会いたい人」、「富山でのワーケーション」をコンセプトに各3本まとめていただいた。

取材記事は、令和3年11月30日にリニューアルした「とやま観光ナビ」上で順次掲載されており、当初課題の「首都圏をターゲットにした、外からの視点で富山観光をPR」という視点からのコンテンツ充実を図ることができた。

副業を経験して

コロナ禍で動けない期間が続く今、多くの地方に旅し、取材してきたノウハウを生かしたいと思い、応募しました。この副業経験を通し、改めて自分自身でも何か発信しようという行動するきっかけになりました。通り一遍の取材ではなく、地域に根付いて活躍する「富山人」にフォーカスすることで、地域の奥深さが深掘りできます。そして、会いに行きたい魅力ある方々が、富山にはまだまだたくさんいらっしゃいます。



東京都在住
50代

紹介を受けた
民間人材ビジネス事業者
パーソルキャリア株式会社

副業の醍醐味は、自らの興味や知識、気付きを広げられる楽しさです。加えて、これまで訪ねたことのなかった北陸を見たい、知りたいという思いもありました。本プロジェクトで秋に初めて来県し、郷土愛にあふれる皆さんと出会って印象が大きく変わりました。ふだんから1週間単位でワーケーションを実施していますが、富山は山が生活に溶け込み、首都圏から近いのにまったく異なる景色。ワーケーションに適した所だと感じました。



神奈川県在住
40代

紹介を受けた
民間人材ビジネス事業者
パーソルキャリア株式会社



県担当者から

副業者には首都圏から来県して実際に見たこと・感じたことを富山県の魅力として、効果的に取材記事にさせていただきました。

外からの視点での取材記事は、あたり前に感じている地元の魅力や価値の再認識にもつながり、今後のコンテンツ作りの参考になりました。

国際観光課

SNSを活用した 戦略的プロモーションで、 インバウンド回復後の 誘客促進につなげたい。

● 課題解決のために

富山県の魅力ある観光地を世界中にPRし、新型コロナウイルス感染症収束後も、再び国内外の多くの観光客から「また行きたい!」と選んでいただくために、インターネット事業会社等でブランド開発やソーシャルメディア戦略の策定、プロモーション活動に従事する副業者1名を採用し、現状把握・解決すべき課題の設定、実態調査のヒアリング、SNS情報発信戦略策定などを行った。

● 取り組みの成果

本プロジェクトでは、これまでのSNS情報発信における課題の分析を行い、新年度以降の事業戦略の提案をいただいた。

事業案については、令和4年度予算化され、新年度以降のSNSプロモーション戦略として実施する。

現状、インバウンド向けのSNS情報発信は、主にFacebookにより実施している。しかし、都度効果検証や測定までに至っていない部分も多く、費用対効果が不明確であった。また、Instagram、Twitterには対応しておらず、国や地域によっては、富山県の情報が広く行き届いていないなどの課題があった。この機会に、効果的なSNS情報発信体制を再構築し、インバウンド再開後の誘客促進につなげたいと考えた。

副業を経験して

私は、日本の経済や文化を活性化するために、日本の地方の力を高めることに関心があり、富山県の持つ観光資源のポテンシャルには可能性を感じていました。

これまでも副業を通じて、老舗ホテルのマーケティング支援でSNS発信戦略の構築を行った経験があり、今回のプロジェクトにもこの経験を活かしたいと思い参加しました。

副業に応募する側には、「試行錯誤の中から本業にも役立つ大きな学びが得られる」、「自分のスキルやキャリアを再評価し、新たなキャリアプラン設計のきっかけにつながる」というメリットがあります。受け入れ側と副業者が、早い段階で、お互いに成果物、期待値をすり合わせておくことも、業務の進めやすさにつながると思います。



神奈川県在住
40代

紹介を受けた
民間人材ビジネス事業者
株式会社みらいワークス



県担当者から

様々な経験や高度なスキルを有するプロフェッショナル人材の方と一緒に仕事ができることは、副業ならではの大きなメリットです。県観光ブランドの確立や、情報発信におけるビジョンの策定はもちろん、SNS事業で大切な「息の長い」体制づくり、情報を受け取った方がいかにアクションに結びつけるかの動線づくりなど、観光情報発信にあたり、細部まで配慮の行き届いた視点に気付くことができ、大変参考になりました。

労働政策課

富山県内企業や 若手人材双方にとって、 満足度の高い マッチングを実現したい。

富山県内中小企業が、県内で学びを終えた学生や、県外に進学した学生、周辺地域の学生などより、就職先としてなかなか選択肢に入りづらく、若い層が県外へ流出するという現状がある。

各企業では採用に苦労し、人材確保難が顕在化するなか、「若者への富山企業の魅力PR不足」「富山で働き、暮らすことの魅力PR不足」「県の施策が若者に届いていない」「他県と差別化できていない」などの課題があった。

● 課題解決のために

労働政策課では、「新人採用や若手キャリア採用担当者」、「新卒者向け情報サービス」、「オンラインデジタルにおけるマーケティング」のキャリアをもつ3名の副業者を採用して、富山県出身者や富山県への進学者など県内外の学生等約60名へヒアリングを行った。ターゲット層ごとに見えてきた課題を整理、検証・分析し、施策検討や既存事業の改善のための提案を行っていただいた。

● 取り組みの成果

いくつかの事業案のうち、一部の事業については令和4年度の当初予算化し、実施する。また、事業化に至らなかった提案の中にも、継続して検討していくものや、既存事業のブラッシュアップにつながったものがある。課題解決のためのステップの中で見つかった新たな視点を踏まえて、引き続き実施していく。

副業を経験して

私は、現在東京で働いていますが、高岡市の出身です。今回はふるさとに何か還元できることはないかと考えて応募しました。本プロジェクトでは、一部の提案が予算化されたことは、やりがいにつながりました。IT分野の話をわかりやすく相手に伝えるノウハウが身についたことも、私自身の収穫です。



神奈川県在住
30代

紹介を受けた
民間人材ビジネス事業者
JOINS株式会社

私は、本来の仕事分野とは違うところで自らのスキルを活かすことに魅力を感じ、2016年から副業を続けています。一つの課題だけに向き合うことは、本業ではなかなかできない経験です。本プロジェクトでは、担当者が私たちのスキルを信頼くださったので、耳の痛いことであっても「今必要だ」と思うことを、自信を持って提案させていただきました。



神奈川県在住
30代

紹介を受けた
民間人材ビジネス事業者
JOINS株式会社

私は新卒採用担当をしており、地方の学生と会う機会もあります。地方の人材確保の課題や、首都圏と地方の採用における情報格差も常に感じていました。自分自身の経験からも、企業側や行政側に加え、学生目線で提案できたかと思えます。本プロジェクトは1人で行うものではなく、異なる背景を持つ3人でディスカッションできたことも刺激になりました。



東京都在住
30代

紹介を受けた
民間人材ビジネス事業者
JOINS株式会社



県担当者から

県内外の学生や企業に対するヒアリング、若手人材定着に関する企画提案をしていただきました。最終的なアウトプット(事業案)はもちろんのこと、これまでのご経験も活かしつつ、学生等への共感から課題定義を行い、エビデンスに基づいて提案へつなげるという進め方自体も大変参考になりました。

▼プロフェッショナル人材、副業・兼業人材の確保に関する問い合わせ
富山県人材活躍推進センター 富山県プロフェッショナル人材戦略本部

所在地：〒930-0805 富山県富山市湊入船町9番1号 とやま自遊館2F

営業日：月曜日～金曜日（※祝日、年末年始を除く）

利用時間：9時～17時

電話番号：076-411-9156

FAX番号：076-411-9184

<https://job-suishin.jp/support/pro.php>

e-mail: pro-jinzai@job-suishin.ne.jp



▼本パンフレット制作・発行

富山県商工労働部労働政策課雇用推進班

所在地：〒930-8501 富山県富山市新総曲輪1-7

電話番号：076-444-8897

FAX番号：076-444-4405